知財総合支援窓口

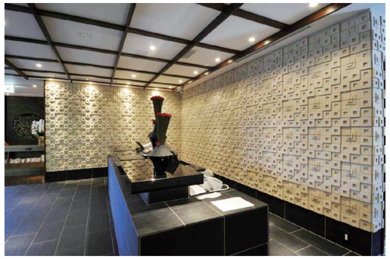
INPIT

支援事例集

幅広い公的機関による支援で知財を活用し快適な環境づくりを提供

株式会社加賀谷ブリック

所在地	北海道釧路市
設立年	1996 年
業種	製造業
従業員数	1 人
資本金	1,000 万円
ホームページ URL	https://www.kagayabrick.com



知財ポータル
窓口支援事例

製造業

北海道

利用のきっかけ

★ 製品開発過程で生まれた新たな技術（稚内層珪藻頁岩を使ったタイル「すこやかブリック」の製造法）とその技術を応用した関連商品（消臭効果のあるグリル用敷石「魚焼き倶楽部」）に対するネーミングを特許及び商標として権利化するため、工業試験場の担当者とともにINPIT知財総合支援窓口を訪問しました。

事業上の課題

★ タイルの製造法の特許出願については先行技術調査が不十分、グリル用敷石の商標出願については「商品と役務」の範囲が不明確で、かつ類似商標の調査も不十分でした。

INPIT知財総合支援窓口での支援内容

支援内容

①J-PlatPat（ジェイ プラット パット）による検索指導と出願協力
②特許出願から権利化までの流れを説明
③中間手続、特に拒絶理由通知書への対処について助言
④補助金制度や中小機構北海道本部による経営面での支援制度の紹介
⑤商品開発・市場等に関する定期的な情報交換

活用した専門家　弁護士

利用後の変化

支援を通じて当社に適したビジネスプランが明確化され、取得した知的財産権を有効活用した事業展開が可能になりました。他社特許の活用と共同研究後の特許取得も経験したことで、製品開発における知的財産の位置づけ、その効果・重要性を強く認識しました。
製品開発に取り組む姿勢と知財意識の高さが徐々に道内外で認知され、高い評価を得たことで、出資を希望する会社も現れ、2011 年には念願の株式会社化を果たしました。
引き続き新たな特許、商標も取得し、製品は道内の有名ホテルで採用されたり、本州でも広く販売されたりしています。
事業の拡大に伴い、美唄の福祉工場に生産を依頼するようになり、企業理念のひとつである「知的障がい者が働く場所の創出」に結びついていることは大きな喜びです。

ご利用を検討される事業者さまへ

複数の公的機関から支援・協力を得て自社製品を開発し、その製品を特許と商標で権利化できました。その結果、北海道独自の天然素材を北海道独自の特許技術で製品化した当社製品のブランド化にもつながり、いわゆるIRツールとしても評価されています。
北海道の地域ブランドイメージの高まりや製品が持つエコな印象に加えて、INPIT知財総合支援窓口の支援や工業試験場との共同開発といった公的機関との連携が、バイヤーが商品選択する際のエビデンスになってくれます。知財経営への効果を大いに実感しています。

株式会社加賀谷ブリック 代表取締役　加賀谷淳一様

広大な北海道で地域の支援機関と連携した新商品開発と海外展開を実施

株式会社 フクザワ・オーダー農機

所在地	北海道河西郡芽室町
設立年	2007 年
業種	製造業
従業員数	6 人
資本金	500 万円
ホームページ URL	https://fukuzawa-order.com/

知財ポータル
窓口支援事例

製造業
北海道

利用のきっかけ

★ 独自の「立ち植え式長いもプランター」の開発を進めているなか、特許発明につながる成果が生まれ、公益財団法人とかち財団・十勝産業振興センターから INPIT 知財総合支援窓口を紹介していただきました。

事業上の課題

★ 日本国内での特許権取得だけでなく、各種助成金の申請、海外でのビジネス展開、海外での権利取得等も必要でした。

INPIT知財総合支援窓口での支援内容

支援内容

ジェイ プラット パット
①J-PlatPat による特許権等の先行調査方法支援
②専門家による権利化の可能性や出願の要否のアドバイス
③研究開発助成金への応募申請書作成支援
④海外展開（中国）へのリスク対策
⑤実用新案の外国出願（中国）と取扱説明書の免責事項に関する検討

活用した専門家　弁理士　弁護士

利用後の変化

知財に関して INPIT 知財総合支援窓口から支援を受けるにあたって、当初はハードルが高いと思いましたが、長いもプランターの特許出願で相談のしやすさ、便利さを強く感じ、「ブロッコリー・フローレットカッター」の海外展開と、新型ブロッコリー・フローレットカッターの開発支援を立て続けに依頼しました。
海外の実用新案の出願は、自分たちの製品が海外で通用するという自信につながりましたし、模倣品が国内に入ってくることを防御する意味でも大きな成果です。関わってくれた多くの支援機関との提携も強固になり、「今度はどんなアイデアが製品になるんだろう」という期待の声に応えられるよう知財を武器にチャレンジし続けていきます。

ご利用を検討される事業者さまへ

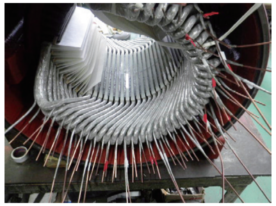
権利取得に関して、やった方がよいのかどうか分からない、そもそもやり方が分からない、あるいは難しそうだからと敬遠してしまうのではなく、まずは INPIT知財総合支援窓口に相談してみましょう。
相談するなかで、自分では考えもつかなかったようなことがたくさん出てきます。自分たちがやっていきたいことも明確になります。相談は無料ですから、知財に悩んだら、やるやらないは別にして、INPIT 知財総合支援窓口に声をかけてみてください。

株式会社 フクザワ・オーダー農機 代表取締役　福澤剛志様

知財の権利化により自社の強みを再認識技術の追究を進める

株式会社 釜石電機製作所

所在地	岩手県釜石市
設立年	1962 年
業種	機械等修理業／製造業
従業員数	28 人
資本金	5,000 万円（資本準備金含む）
ホームページ URL	https://www.e-kamaden.co.jp/



知財ポータル
窓口支援事例

製造業

東北

利用のきっかけ

★ 光触媒関連技術の共同発明者である岩手県工業技術センターから INPIT知財総合支援窓口の利用を提案され、知財を権利化するための支援を依頼しました。

事業上の課題

★ 短・中期的な課題としては、共同開発した光触媒プレートを搭載した空気抗菌装置に関するマーケティング基本戦略（=STP）が明確になっていませんでした。
★ 長期的な課題としては、自社のの強みを活かすにはどうするべきかを考えたとき、やはり“技術”でした。自社の技術に立ち戻り、知財を活かした事業戦略をあらためて立てる必要がありました。

INPIT知財総合支援窓口での支援内容

支援内容

①SWOT分析、ビジネスモデル・キャンパスによる基本戦略のアドバイス
②ターゲティングを明確にしたマーケティング活動支援
③ブランディングの観点から商品名統一のアドバイス
④知財関連条項を含んだ契約書や製品保証書、取扱説明書の作成支援
⑤特許取得、商標登録支援
⑥知財評価と評価に基づいた事業戦略のアドバイス

活用した専門家　中小企業診断士　弁理士　弁護士

利用後の変化

主業務であるモーター、ポンプ等の整備で培った溶射技術を応用し、光触媒材料製造技術の特許を取得しました。これを使った空気抗菌装置「カザノイア」について、INPIT 知財総合支援窓口の支援を得て分析したところ、注力顧客を酒造メーカーに絞り込むことになりました。ＰＲや営業活動がしやすくなり、受注先を確保することができました。これが、自社の強みを再認識するきっかけにもなりました。
我々のような企業が異業種とも言える分野で製造、販売、アフターフォローまで、すべてを行うのは厳しいです。原点である“技術”に立ち戻って「光触媒プレートをどう活かすか」を追究することにし、現在も地方独立行政法人 岩手県工業技術センターをはじめ、国立研究開発法人 産業技術総合研究所（産総研）とも共同研究を進めています。

ご利用を検討される事業者さまへ

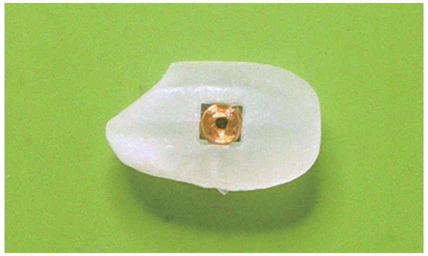
自社の技術を公開したくないがために「あえて権利化しない」という企業もあるかもしれません。しかし、当社においては権利化することで、いろいろな選択肢が増えました。たとえば、他者との協議もしやすくなったり、新たな取引先や共同研究をしてくれるパートナーが見つかるといったことが挙げられます。
INPIT 知財総合支援窓口は、“知財の総合アドバイザー”です。自社の技術が権利化できるかもしれません。それこそが自社の強みになります。お気軽に利用されることをおすすめします。

株式会社 釜石電機製作所 専務取締役　佐藤太郎様

権利取得済みの知財をあらためて見直し国内外に独自製品を供給

スターエンジニアリング株式会社

所在地	茨城県日立市
設立年	1980 年
業種	製造業
従業員数	45 人
資本金	3,000 万円
ホームページ URL	https://www.stareng.co.jp/



利用のきっかけ

★ マイクロモーター・各種コイルや非接触（RFID）IC カード・タグ、環境機器（生ごみ処理機・バイオトイレ）の設計・製造・販売等を行ってきましたが、取得済みの特許権、商標権などについて、改めて見直すため相談しました。

事業上の課題

★ 開発中の機器について、知財保護や中国市場におけるリスクを最小限としながら、収益向上を目指したいと考えていました。

INPIT知財総合支援窓口での支援内容

支援内容

①知財保護に関する発明ポイントの助言
②特許出願、早期審査、拒絶理由通知への対応方法の説明
③中国市場におけるライセンス許諾を中心とした事業モデルのアドバイス
④中国企業との契約書作成に関する支援
⑤中国市場における知財の権利化に関する支援

活用した専門家　弁理士　弁護士

利用後の変化

当社は“技術力”を提供する企業ですので、これまでにも特許・商標を取得してきましたが、大手企業への製品供給や海外展開などを行うなかで、INPIT知財総合支援窓口からの助言もあり、既存の商標権を見直し、社名や製品名など４つの商標権を新たに取得しました。
知財という点では、IC チップのバンプ部とアンテナを合金化し、直接接合する特許を取得しています。これにより、小型化と高耐久化が同時に可能となり、他社に“真似されない製品”を多くの企業に供給できています。
また環境機器には、東北大学との共同研究で開発した「アシドロ ® コンポスト分解方式」を採用しており、商標権を取得。開発中だった環境機器の遠隔監視サービスについては、INPIT 知財総合支援窓口から助言を受け、弁理士と連携して特許を取得いたしました。これにより、安心してビジネスを展開できるようになったと感じています。

ご利用を検討される事業者さまへ

中国市場に関しては、INPIT知財総合支援窓口や茨城県よろず支援拠点の助言を受け、知財保護も含めリスクを最小限とし、収益向上につながる契約を締結することができました。近年、模倣品が出回っているとの情報が入りましたが、中国のパートナー企業と連携しながら対抗策を講じています。
知財は、「真似されない」のと同時に「真似しない」という観点も重要です。INPIT 知財総合支援窓口を一言で表すと“知財の万（よろず）相談所”です。相談をためらう方もいるかもしれませんが、多くの情報を持っていますし、費用も無料なので自らハードルを上げず、気軽に相談されたらいいのではないでしょうか。

スターエンジニアリング株式会社 代表取締役社長　星哲哉様

知財活用で自社製品を開発
中小企業に
知財の知識は必須！

アイシン電子工業株式会社

所在地	栃木県宇都宮市
設立年	1982 年
業種	製造業
従業員数	57 人
資本金	2,000 万円
ホームページ URL	https://www.aishindenshi.com/

利用のきっかけ

★ 大学発のベンチャー企業と提携開発した除菌脱臭機について、産学官金連携支援により、開発技術及び特許の実施許諾を受け、さらに量産化が決定したことなどが新聞に取り上げられ、広く知られるようになり、INPIT 知財総合支援窓口の支援担当者からアプローチがありました。

事業上の課題

★ 知財クリアランスの確保や意匠権の取得･活用、技術法規への適合等が必要であり、特許の実施許諾契約及び製造受託契約などを進める必要がありました。

INPIT知財総合支援窓口での支援内容

支援内容

①除菌脱臭機の量産・販売に関して技術法規への対応支援
②他社知財に対するクリアランスと知財（意匠）障壁の構築支援
③特許の実施許諾契約及び製造受託契約についての助言
④コーポレートブランドの商標取得
⑤営業秘密管理規程の策定支援

活用した専門家

弁理士　弁護士
INPIT知財戦略アドバイザー

利用後の変化

当社は、光学製品を大手企業に提供することを主な事業にしてきましたが、初めて自社製品を製造・販売するにあたり、知財に関する知識やノウハウがなく、INPIT 知財総合支援窓口の支援を受けました。
意匠権の取得や事業運営全般に係わるアドバイスを頂き、今では安心して製品作りに取り組むことができています。新聞広告やテレビCMを行ったため「リブートエアー ® シリーズ」は、広く知られるようになり、県内外の企業から「販売代理店になりたい」との引き合いが増えました。
また、知財を権利化したことによって、知財保護に対する意識も強くなりました。INPIT 知財総合支援窓口からアドバイスを頂き、秘密保持に関しての社内規程などを見直したところ、不足がありましたので、あらためて作り直しました。

ご利用を検討される事業者さまへ

知財は、企業がこれから一番注意していかなければならないものです。大企業の下請けであっても、消費が低迷し、生産が先細りするなかで、どうにかして生き残るために新たな価値、新たな自社製品を作っていかなければなりません。そういった時代が必ず来ると思います。その時に、企業側にノウハウがなければどうしようありません。そういう点からも知財に関するアドバイスを頂けるのはとても貴重です。
当社にとっては、特に意匠権に関するノウハウが大きかったのですが、他にも、多くの知識や情報を提供してくれて、協力してくれる団体や組織、専門家も紹介してくれるので、とても大きなメリットです。INPIT知財総合支援窓口は、これからの中小企業にとって“なくてはならない便利屋”だと思います。

アイシン電子工業株式会社 代表取締役　落合正樹様

中小企業では初の歌詞のない音商標を取得！さらに、キャラクターを使った異業種コラボを実現!!

群馬電機株式会社

所在地	群馬県みどり市
設立年	1968 年
業種	製造業
従業員数	130 人
資本金	9,930 万円
ホームページ URL	https://www.gunmadenki.co.jp/

知財ポータル
窓口支援事例

製造業
関東

利用のきっかけ

★ これまでにも特許事務所を通じて特許・意匠・商標を権利化してきましたが、「更に知財でやれることはないか？」との思いで参加した金融機関が開催したセミナーでINPIT 知財総合支援窓口を紹介されました。

事業上の課題

★ スーパーの食品コーナー等で、商品案内を自動再生する音声 POP「呼び込み君」に関する権利は、20年以上前に権利化した商標１件のみだったので、継続的な権利取得が必要でした。

INPIT知財総合支援窓口での支援内容

支援内容

①「呼び込み君」に関する文字商標に「おもちゃ」と「小売役務」の区分追加にかかる支援
②「呼び込み君」の音商標の権利化支援
③知財を活用したマーケティングプランの提案
④キャラクター図案の商標出願にかかる支援

活用した専門家　弁護士　INPIT海外知的財産プロデューサー

利用後の変化

「呼び込み君」は、コロナ禍によって呼び込みができなくなったスーパー等に需要があり､多くの人の耳に「ポポーポポポポ♪」のメロディが届くようになりました。そこで、INPIT知財総合支援窓口に相談して音商標を取得しましたが、歌詞がない音商標は全国でも５例目で、中小企業では全国初とのことです。
また、キャラクター図案を商標出願したことで、異業種とのコラボがしやすくなり、着メロサイト、玩具メーカー、お菓子メーカー、出版社等、これまで縁がなかった異業種とのビジネスが始まり、大きな可能性を感じています。
もう１つの主力事業である OEM 事業にも影響がありました。「呼び込み君」を大抵の方が知っておられるので営業活動がしやすくなりました。多くのメディアや YouTube等で広まったため、社員のモチベーションも上がったと思います。

ご利用を検討される事業者さまへ

私どももものづくりの会社で、キャラクターを使ったビジネスには弱い、というのが正直なところでした。皆さまも知財を使ったビジネスは、始めるまでは不得手な部分がかなりあって「進めづらい」と感じているかもしれませんが、INPIT 知財総合支援窓口に相談すれば、さまざまなアドバイスや知財を使ったビジネス展開を丁寧に指導してくれます。もし、表に出したい知財があれば、ぜひ、相談されたらいかがでしょうか。

群馬電機株式会社 常務取締役　藤巻剛様

権利をうやむやにせず
知財を守る
特許の保護は
小規模企業の死活問題

オギクボ開発株式会社

所在地	東京都杉並区
設立年	2016年
業種	情報通信業
従業員数	2人
資本金	300万円
ホームページ URL	https://www.ogiqvo.com/

4D Maps

利用のきっかけ

★ 3D地図上に、鉄道、バス等の運行状況をリアルタイムで可視化するソフトウェアを開発し、特許も取得（特許第6432904号）していたところ、類似したシステムがインターネット上に公開されているのを発見。特許庁の政府模倣品・海賊版対策総合窓口を通して、INPIT知財総合支援窓口を紹介されました。

事業上の課題

★ 特許権侵害の相手方が日本の法律が適用されない海外在住であったため手の打ちようがありませんでした。

INPIT知財総合支援窓口での支援内容

支援内容

①特許権侵害を発見した場合の対応・手順
②派遣専門家（弁護士）の選定
③特許権侵害有無の確認

活用した専門家 弁護士

利用後の変化

弁護士が特許侵害の可能性が高いと判断した場合は、相手方に対して警告状をもってその事実を知らせる必要があることを INPIT知財総合支援窓口からアドバイスされました。弁護士による侵害確認を経て、その弁護士と契約し、内容証明郵便で警告状を発送した結果、相手方は特許権への抵触を認め、相談から１カ月足らずで解決しました。
侵害発見当初は、知財保護のために特許を取得したにも関わらず類似システムが公開されたことで、特許制度の権利保護力や特許侵害に対するサポートについても小規模企業は軽視されるのではないかと懸念していましたが、警告状を発送して特許侵害状態を解消することができ、権利取得の効果を実感いたしました。

ご利用を検討される事業者さまへ

ソフトウェア業界は特許を持っていても、その権利をのらりくらりとかわされて類似品が出回ることが多く、泣き寝入りしている開発業者が少なくありません。それをうやむやにせず、権利を主張して保護することが小規模企業にとっては死活問題になります。
INPIT知財総合支援窓口に相談して、窓口担当の方から的確なアドバイスを頂けたことで、気持ちを落ち着かせることができました。また、当社の案件に最適な弁護士（派遣専門家）を選んでくださり、短期間で特許侵害状態を解消することもできました。
特許権の侵害という事態は青天の霹靂で、相談相手がいないと自分では判断できないことが非常に多くあります。そういうところからご支援頂けて心強かったです。

オギクボ開発株式会社 代表取締役社長　川島和澄様

最適な模倣対策支援によって業績拡大！地元糸魚川から全国初の技術を発信！

有限会社 井出計器

所在地	新潟県糸魚川市
設立年	1980 年
業種	製造業
従業員数	11 人
資本金	1,000 万円
ホームページ URL	https://idekeiki.jp/

利用のきっかけ

★ 特許保有製品の修理依頼を自社製品納入業者である大手メーカーから受けた際に類似品が混在していたため、新潟県工業技術総合研究所を通じて INPIT 知財総合支援窓口に協力を依頼しました。

事業上の課題

★ 製造品質の向上を目指す企業理念を守るため、類似品の使用中止と自社製品の販売減少に相当する対価の支払いを希望していました。

INPIT知財総合支援窓口での支援内容

支援内容

①保有特許権の有効性の確認
②相手が重要顧客であるというリスクを認識した上での慎重な対応に配慮
③保有特許権の有効性及び類似品が効力範囲に属することを確認し和解契約締結をフォロー
④今後の納入品に対する十分な配慮と手順の遵守等を通知書に盛り込み模造品対策

活用した専門家　弁理士

利用後の変化

大手メーカーに対する通知書の作成に関して助言を頂き、類似品全量を自社製品に交換することができました。更に大手メーカーから「知財の重要性を十分認識した企業」としての評価を得て、当社の他製品の追加採用という副産物まで手に入れました。
３カ月程度の短期間で初期目的を達成したうえに、売上倍増を実現し、当初の希望以上の成果獲得に至りました。おかげで裁判等に拠らず自力で直接折衝できたことで、いちばん懸念していた今後の取引への悪影響を回避できたことが何よりの収穫です。

ご利用を検討される事業者さまへ

初めて相談した際にはたいへん緊張しましたが、INPIT 知財総合支援窓口は思ったよりも敷居が低く、無料で何回でも相談できるため、ありがたかったです。自社からINPIT知財総合支援窓口までは 100km程離れており、２時間以上かかるので、顔を合わせる機会は限られましたが、電話やメールのやりとりで頻繁に対応していただき、理論と実践の両面から、到達地点を見据えて俯瞰的に交渉過程全般でアドバイスを受けました。INPIT 知財総合支援窓口は、当社のような人的・金銭的制約のある小規模企業にとって、正に頼りになる "社外知的財産部 " です。

有限会社 井出計器 代表取締役　井出 貴美様

射出成形機ガス抜き工法のライセンス契約で知財メリットを最大化

株式会社 道志化学工業所

所在地	山梨県南都留郡
設立年	1971 年
業種	製造業
従業員数	27 人
資本金	1,000 万円
ホームページ URL	https://doshi-chemical.com/

利用のきっかけ

★ 2012 年度の「ものづくり補助金」に応募。採択後に、樹脂成形における“エジェクタ制御によるガス抜き工法”の開発を行い、完成の目処が立ちつつある段階で、特許権取得について INPIT知財総合支援窓口に相談しました。

事業上の課題

★ エジェクタピン、射出成形金型及び射出成形方法の特許権取得。

INPIT知財総合支援窓口での支援内容

支援内容

①特許権取得
②商標権取得
③特許ライセンス契約に伴う契約書案の検討
④工場見学時の機密情報管理に関する助言

活用した専門家　弁理士

利用後の変化

射出成形機ガス抜き工法の特許権の取得のみならず、成形監視システムの外販時におけるロゴマークの商標を出願、さらには、ライセンス契約に伴う契約書案の検討等を、INPIT 知財総合支援窓口が窓口となって包括的に手掛けてくださったことで、知財の優位性を活かしたビジネス（成形機メーカーの実施許諾や他企業への実施許諾）の交渉が、スムーズに進むようになりました。
また、開発した技術に関連した工場見学の実施等も積極的に行っていますが、その際の機密情報の管理体制へのアドバイス等もいただいています。

ご利用を検討される事業者さまへ

本業のかたわら、自社で特許権取得に向けた作業を行うのは困難です。理由は、明細書作成のハードルが非常に高いからです。さらに言うなら、自分で弁理士を探そうと思っても、自社の製品技術の優位性を正しく理解して、なおかつ、多岐にわたって手厚くフォローしてくれる方を探すのは至難の業です。
そのような意味でも、今回、豊富な経験値を持つ INPIT 知財総合支援窓口を利用したのは正解でした。支援担当者の方は、様々な相談に真摯に耳を傾けてくださいました。今後も知的財産権の活用等に関する案件があれば相談させていただきます。

株式会社 道志化学工業所 代表取締役　水越彦衛様

ライセンス契約により事業が安定 独自技術を活かした新製品の開発注力で更なる発展へ

有限会社 リード創研

所在地	静岡県焼津市
設立年	2004 年
業種	製造業
従業員数	2 人
資本金	300 万円
ホームページ URL	https://www.lead-soken.co.jp/

知財ポータル
窓口支援事例

製造業

中部

利用のきっかけ

★ 技術開発型企業としてスタート。独自技術による特許やノウハウがあり、それを必要とする企業とのライセンス契約を通じて社会に貢献したいと考えていました。

事業上の課題

★ 企業間のライセンス契約締結までに予想外の長い期間とそれに伴う高額な経費がかかっていました。

INPIT知財総合支援窓口での支援内容

支援内容

①企業連携の際の注意点と契約の重要性に関する助言
②技術ノウハウ流出防止のための特許実施許諾および技術援助契約のアドバイス
③取得している特許権の維持
④海外知財契約書、英文ライセンス契約書への助言

活用した専門家 弁護士　INPIT 海外知的財産プロデューサー

利用後の変化

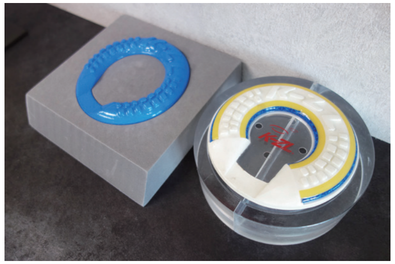
IINPIT 知財総合支援窓口の支援により、契約書の重要性を学び、自社の誇る技術や特許等の知的財産権を有効活用できました。これにより、海外企業から持ち掛けられた契約が買収目的と判明し中止したケースもありましたが、最大の目標だった大手企業との契約を２年がかりで締結し、収益の大きな柱が構築できて経営・事業面が安定しました。
また、契約の過程で、先方が求める性能をひとつひとつクリアしていく中で、砥石業界に求められている先端ニーズと弊社技術がマッチしていることがわかり、新たな展開のきっかけを掴んだのも大きな成果でした。現在、この知見を活かして医療分野で世の中のためになる新製品を開発中です。

ご利用を検討される事業者さまへ

特許、ノウハウをベースとしたライセンス契約は、相手企業が大きくなればなる程、予備契約から本契約まで時間を要し、この間すべてを弁護士に依存してしまうと膨大な経費負担となり、弱小企業ではとても対応しきれませんでした。INPIT 知財総合支援窓口の支援担当者の熱意と様々な手厚いフォローには頭の下がる思いです。
優れた研磨技術には高いニーズがありますので、今後も INPIT 知財総合支援窓口の力をお借りしながら、「必要は発明の母である」という言葉を胸に、現代のニーズを満たした新製品作りに励んでいきたいと考えています。

有限会社 リード創研 代表取締役　小柳津善二郎様

特許権を新設会社に譲渡して事業を拡大



利用のきっかけ

★ 建設業界の下請け体質からの脱却を目指し、関連会社がスリップ防止用道路保安用品「ケーズルリング」、スリップ防止溝「ケーズル工法」、掘削工具「ケーズルビット」を開発。特許権の取得を検討しましたが、本業に忙殺され手続きに踏み切ることができず、半ば特許出願を断念。この時、特許流通アドバイザーから紹介された INPIT 知財総合支援窓口の支援担当者からの強い励ましと支援により、特許、意匠、商標の権利を取得しました。

事業上の課題

★ 関連会社は建設業に注力させ、製品の販売・品質管理・正規施工店制度の管理範囲の拡大を目指してロードセーフティー株式会社を新設。ところが、社長が両社を兼務することは利益相反行為となるため特許権譲渡の手続きに迫られていました。

INPIT知財総合支援窓口での支援内容

支援内容

①光触媒に関する技術情報等の提供と発明発掘、公設試の耐候性試験紹介
②特許等先行技術調査の支援
③特許庁外国出願補助金の活用
④特許庁の「知的財産デュー・デリジェンス標準手順書」に基づく譲渡金額算定による特許権等譲渡証書、両社株主総会議事録を添付した特許等移転登録支援
⑤特許権等譲渡契約書、製造委託契約書の作成支援、特許権等移転契約、正規施工店との特許実施許諾契約作成支援

活用した専門家　弁理士　行政書士　INPIT海外知的財産プロデューサー

ロードセーフティー株式会社

所在地	愛知県愛西市
設立年	2013 年
業種	製造業
従業員数	1 人
資本金	1,000 万円
ホームページ URL	https://roadsafety.jp/

製造業

知財ポータル
窓口支援事例

中部

利用後の変化

取得した特許権を活かし、ケーズルビットの製造販売メーカーとライセンス契約を締結。また、全国で「ケーズル工法正規施工店講習会」を展開し、特許工法の許諾契約を締結。新事業形態による品質管理体制を確立しました。2022 年 7 月には愛西市にロードセーフティー新社屋が竣工。業界のリーディングカンパニーとして躍進しつつあります。
今後は、正規施工店との保安用品の全国展開を始め、新工場の建設による地域の雇用創出、INPIT 海外知的財産プロデューサーを活用した代理店の海外展開等、更なる知的財産の活用を図っていく所存です。

ご利用を検討される事業者さまへ

困り事を改善する仕組みを作れば売れるマーケットがある。それを権利化するのが特許です。建設業の場合は、現場の不便を職人たちが独自に改善して使い易くしている。いわば特許の宝庫です。ただ、その工夫を商品化して知財戦略を練ろうとは誰も考えない。考えても、そのやり方が分からない。そこで相談する人の有無が会社の成長に大きく影響すると思います。
当社のような小企業が、知財戦略を取り入れたことで、大手企業との対等な取引や協力企業との円滑な取引ができるようになったのは、すべて INPIT 知財総合支援窓口の支援担当者のおかげです。今後も知財戦略を大きな強みとして、社会貢献できる企業を目指して参ります。

ロードセーフティー株式会社 代表取締役　佐藤隆様

幅広い支援で
ネイルセミナー事業が拡大
目指すはネイル事業の家元

株式会社 ルミナ

所在地	三重県名張市
設立年	2021 年
業種	美容・サービス業
従業員数	３人
資本金	100 万円
ホームページ URL	https://rumina.jp

知財ポータル
窓口支援事例

利用のきっかけ

★ 2018 年頃から、ネイルセミナー開催、オリジナルのケラチン入りネイルジェルの開発と販売事業等に着手し、2021 年８月に株式会社ルミナを創立。こうした事業拡大の過程で、商標出願に関する支援についてインターネット等で調べ、INPIT知財総合支援窓口のウェブサイトにたどり着き支援を要請しました。

INPIT知財総合支援窓口での支援内容

支援内容

①商標登録出願に関して、出願書類作成、類否判断、拒絶理由通知書対応等をサポート

②ネイルジェルの製造委託契約の適正化と赤外線吸収スペクトル検査等を使用した品質確認をサポート

③ブランディング専門家等によるビジネスモデル構築支援

④施術ツールの開発に関する先行特許調査方法や発明技術の抽出等を支援

活用した専門家

弁理士　ブランディング専門家
中小企業診断士

利用後の変化

ハウスマーク「ルミナ」の商標に加え、「ルミナジェル」の商標が登録できました。また、創業当時から実施している店舗での施術に加え、INPIT知財総合支援窓口による支援後に開始したネイル施術セミナー事業、ネイルジェル販売事業により、創業当時に比べ、月当たりの売上げを 3.2 倍に高めることができました。更に INPIT知財総合支援窓口から継続的に支援をいただき、施術技術の高度化を図るための施術ツールを開発し、商品化に向けて特許出願中です。
現在は、INPIT 知財総合支援窓口から三重大学の研究支援制度をご紹介いただき、工学部で研究されていた「今までネイル業界にはない成分」を取り入れた美容液の共同研究に着手しています。今後も、ルミナ式施術のフランチャイズの立ち上げや、ブランディングの確立に向けた施術技術の高度化、ネイルマシンの使い方の定義作り等の施術マニュアルの整備に努め、ネイル事業の家元への道を一歩一歩、歩んでまいります。

ご利用を検討される事業者さまへ

自分たちの事業や商品を守るために、知財の活用は本当に重要です。商標登録出願支援から始まった INPIT 知財総合支援窓口の支援ですが、特許要件や具体的な出願のポイントなどを含め、知財に留まらず、当社の視野が広がる支援を手厚く提供していただきました。そのなかで、はじめは重要視していなかった知財の大事さを深く理解することができました。施術者の負担を軽減し、また、施術上のトラブルをなくすという理想の実現に向けて、今後も課題解決のため、引き続き INPIT 知財総合支援窓口を利用したいと考えております。

株式会社 ルミナ 代表取締役　東口るみ様

特許取得から ビジネスプランの策定まで 創業時のメンターとして活用！

ステータシー株式会社

所在地	滋賀県大津市
設立年	2021 年
業種	小売業
従業員数	5 人
資本金	300 万円
ホームページ URL	https://statusy.jp/

利用のきっかけ

★ 2020 年に新形状の財布（多様に変化する折りたたみ財布）を、実用新案登録による保護を視野に入れINPIT知財総合支援窓口に相談。二つ折り、三つ折り、小さなミニ財布にも変身する機能は例を見ず、アイデア模倣の恐れから特許権の取得を考えました。当初は、知財戦略によって売り上げの拡大を考えていたわけではありませんが、結果的には支援受けたことで多面的な知財メリットを享受することができました。

事業上の課題

★ 構造的に特徴がある革製品は模倣されやすく、アイデアの模倣対策を怠ると類似商品が市場に出回り競争力が低下します。また当時は、異業種からの独立を考えていたため、自社製品の独自性保護はもちろん、独立後の事業戦略やビジョンの構築などが課題としてありました。

INPIT知財総合支援窓口での支援内容

支援内容

①特許権取得支援
②商標・意匠登録取得支援
③事業戦略構築支援
④独立・法人化支援

活用した専門家　弁理士　中小企業診断士　行政書士

利用後の変化

弁理士による特許出願、商標・意匠登録出願手続き支援、中小企業診断士による事業戦略構築支援、行政書士による法人化手続き支援など、すべての窓口になってくださったのが INPIT知財総合支援窓口の支援担当者です。
その結果、折りたたみ財布（特許出願、商標出願）、極小長財布３種（意匠出願、商標出願）はクラウドファンディングで目標金額を大幅に超える（14715%）を達成。また、各財布のブランド名は商標登録済みで、極小長財布の意匠も弁理士の助言を活かし登録済み。コロナ禍でも大幅の売上増となりました。

ご利用を検討される事業者さまへ

2021 年に独立するまで革製品の事業は副業でした。独立の意志は強くありましたが、家族の暮らしや住宅ローンのことを考えると不安でした。そのさなかで、新形状の折りたたみ財布の特許出願について、INPIT 知財総合支援窓口に相談したことがきっかけとなり、人生が劇的に変わりました。
自分のアイデアに権利を与えて、その価値を最大化してくれるものが特許権です。しかしそれ以前に、権利を活用してどのようなビジネスプランを描くかが肝心です。そのメンターとなり支援の手を差し伸べてくれたのが INPIT知財総合支援窓口です。心から感謝しています。

ステータシー株式会社 代表取締役　田中比呂達様

想いをカタチに変える
知財戦略で
産学官連携による
医療機器開発

テクノグローバル株式会社

所在地	大阪府八尾市
設立年	2006 年
業種	製造業
従業員数	30 人
資本金	600 万円
ホームページ URL	http://www.techno-global.co.jp

知財ポータル
窓口支援事例

重点支援事例

製造業

近畿

利用のきっかけ

★ 下請けからの脱却を目指し、開発に挑戦した初めての自社製品、壁掛け時計「iconclock」とティシュ BOX「paol」を販売するにあたり、他社による模倣防止のため、知財保護について相談。更に同時期に奈良県立医科大学との共同開発で「ヒューバー針抜針器」の開発も進めており、特許出願を考えていました。

INPIT知財総合支援窓口での支援内容

支援内容

①新商品開発における知的財産の役割と重要性に関するアドバイス
②意匠権取得のアドバイス
③「ヒューバー針抜針器」の特許出願及び大学との共同出願契約や実施契約の支援
④技術の秘匿戦略・営業秘密管理・技術漏洩防止による金型技術・ノウハウの保護を推進

活用した専門家

デザイン専門家　弁理士　中小企業診断士
INPIT知財戦略アドバイザー　弁護士

利用後の変化

自社で意匠登録出願とデザイン業務委託契約を締結することができました。支援頂いたおかげで独り立ちができ、非常にありがたく思っています。
また、金型技術の営業秘密管理、職務発明などの社内知財管理への関心の深まりは、「ヒューバー針の抜針器」の販売開始や、重金属をその場で測定する世界初の水質計「AQSCIL」の商品化へとつながっています。
更に、INPIT知財総合支援窓口の支援を受けているということが技術力の裏付けとなって、大学の先生方からの信頼度が高まり、大阪大学や奈良県立医科大学との共同開発がいくつも進んでいます。その中でも現在開発中の「3D-PANDA」は、CT データを利用した安全な三次元穿刺デバイスとして特に注目を集めています。

ご利用を検討される事業者さまへ

INPIT 知財総合支援窓口では、中小企業が抱える知的財産権に関するどんな小さな課題についても、最適な各分野の専門家を派遣して、解決に向け丁寧に対応してくれます。
当社は 1 年間集中的に多方面の専門家の派遣を受ける INPIT の「重点支援」によって、知的財産の出願・権利化のみならず、ライセンス契約、事業戦略、海外展開、営業秘密管理、職務発明規程等、幅広く事業の成功に向けた支援を受けることができました。
「社内では当たり前なものづくりの技術が、外から見れば知的財産になる」と意識が変わり、新たな市場に挑む力になっています。

テクノグローバル株式会社 代表取締役　髙田弘之様

ロゴマークはブランドの顔
商標権を獲得して
事業拡大を
加速！

松田果樹園＋(プラス)

所在地	奈良県天理市
設立年	2020 年
業種	農林水産業
従業員数	15 人
ホームページ URL	https://matsudakajuen-plus.com/

利用のきっかけ

★ 当園は 36 代続く果樹園農家です。2020 年、新たに柿の加工製品事業を手掛けるにあたり、屋号を「松田果樹園」から「松田果樹園＋(プラス)」と改めてホームページを刷新しました。同時に、果実及び加工製品の統一ブランドとしてのロゴマークの制作を依頼したデザイナーより、INPIT知財総合支援窓口を紹介していただきました。

事業上の課題

★ 奈良県には柿農家が多く、それぞれにロゴマーク（らしきもの）を設けていて、類似したものが少なくありません。ロゴマークはブランドの顔でもあるため、安易に真似されては独自性を主張できなくなります。そのため、商標権を取得して類似ロゴマークの登録や使用を防ぐことが事業運営上の大きな課題でした。

INPIT知財総合支援窓口での支援内容

支援内容

①商標出願にかかる支援
②新商品開発における助成金申請支援
③ジェラート・果実販売店の開設の支援

活用した専門家　弁理士　中小企業診断士

利用後の変化

INPIT 知財総合支援窓口との出会いによって事業拡大のスピードが加速しました。商標権を取得した統一ブランドのロゴマークで、果実のネット販売、果実ジェラートやドライフルーツ、ジャムなどの加工製品をコンビニエンスストアや道の駅に販売展開して売り上げが拡大しました。同時にブランド認知度も高まっています。
更に、県の助成金を活用して開発した高級ジェラートは、天理ブランド認定制度に申請しました。
また、2025年に開催される大阪万博でのインバウンド需要を取り込むために、ジェラートと果実のお店を開設する予定です。

ご利用を検討される事業者さまへ

本業に勤しみながら、商標の出願を自分一人でやろうとしたら相当な労力が必要だったと思います。INPIT 知財総合支援窓口の支援担当者が“商標出願の基礎知識”を丁寧に教えてくださり、また、その時々でベストな専門家を紹介してくださったおかげで、スムーズに出願することができました。
当初は、「商標権は事業拡大を加速させる知財である」という認識はありませんでしたが、お付き合いを通して知財の可能性を学ぶことができました。INPIT 知財総合支援窓口は、商標権取得の支援のみならず、新しい一歩を踏み出した私どもにとっての“頼りになるビジネスパートナー”という役回りも果たしてくださっています。

松田果樹園＋ 代表　松田通史様

意匠権を戦略的に取得し その権利を活用して ライセンスビジネスを実践

アース企画

所在地	岡山県総社市
設立年	2013 年
業種	製造業
従業員数	1 人

知財ポータル
窓口支援事例

製造業
中国

利用のきっかけ

★ 第三者の技術を侵害しないために 30 年以上前から、紙資料で特許情報を調べてきましたが、2017 年に草刈り機の回転刃の２面を同時研磨できるダイヤモンド砥石の特許権について INPIT 知財総合支援窓口に相談しました。

事業上の課題

★ 代理人を利用した特許権取得コスト低減の実現。また、受発注業務や在庫管理等を一人でこなさなければならず管理業務に追われていました。

INPIT知財総合支援窓口での支援内容

支援内容

①J-PlatPat（ジェイ プラット パット）を活用した先行技術調査協力
②意匠権取得は特許権に比べて安価であるというメリットの説明と出願時の支援
③意匠権を活用したライセンスモデルの紹介
④意匠権通常実施許諾契約書及び基本取引契約書の作成支援

活用した専門家　弁護士　弁理士

利用後の変化

意匠権は製品の形状等を描いた６図面が作成できれば権利の取得が可能で、産業財産権に精通していなくても類似品を発見できること、また、特許権に比べて費用が抑えられることを教えてもらい、意匠権５件を取得することができました。
その後、契約書等に関しても支援を頂き、大手の卸業者とライセンス契約を結ぶことができ、製造・販売を先方に任せるライセンスモデルに移行できました。
以前は製造原価が想定通りには下がらず赤字の状態で事業を続けていましたが、INPIT 知財総合支援窓口の協力を得て、利益を確実に確保できるようになり、便利な製品を必要な人の元に届けられるようになりました。「売り手よし」「買い手よし」「世間よし」の " 三方よし " を実現することができたいへん満足しています。

ご利用を検討される事業者さまへ

製品は各地の展示会で大評判で、契約先の営業網も広く、今後大きなロイヤリティが見込めます。類似品を作ることができないため、価値に見合った価格を維持することができる訳です。INPIT 知財総合支援窓口にいろいろな事を教えてもらい、とても一人では成し遂げられない契約が成立しました。そのおかげで、管理業務から解放され、経営が安定化し、再び研究開発にエネルギーを注ぐことができるようになりました。頭の中にたくさんあるアイデアの中から次のビッグビジネスを形にするべく大いに張り切っています。

アース企画 代表　佐伯政義様

社内知財体制を整備し
様々な新素材を開発

三笠産業株式会社

所在地	山口県山口市
設立年	1949 年
業種	製造業
従業員数	230 人
資本金	9,196 万円
ホームページ URL	http://www.mikasasangyou.co.jp

知財ポータル
窓口支援事例

製造業

中国

利用のきっかけ

★ 1986 年から、粉体をミクロン単位まで細かくする微粉砕技術を応用したレーザープリンター用トナー、食品の微粉砕技術を使った「野菜ファインパウダー」等を製品化してきましたが、あらためて、社内の機密情報管理が必要になり、INPIT 知財総合支援窓口に相談しました。

INPIT知財総合支援窓口での支援内容

支援内容

①経営層及び部門ごとに秘密情報管理勉強会を実施
②営業秘密管理規程の策定支援
③職務発明規程の策定支援
④蛍光トナーの知的財産権（実用新案、商標権）の取得

活用した専門家　**INPIT知財戦略アドバイザー　弁護士**

利用後の変化

創業以来、農業生産資材の販売など国内農業の支援を続けてきたこともあり、多くの特許、意匠、商標を権利化してきました。ただ、社内の機密情報管理については不十分だったこともあり、INPIT 知財総合支援窓口の支援を受け、営業秘密管理規程と職務発明規程の両方を揃えることで、社内の知財管理体制を整えました。
また、出雲工場においても、INPIT 知財総合支援窓口と連携して支援していただき、知財保護という点からは安心して製品開発・製造を進めることができています。
開発中の新素材に関しても、特許出願について INPIT 知財総合支援窓口に支援していただいていますので、今後、開発型企業として社内の活性化を進めていきたいと考えています。

ご利用を検討される事業者さまへ

特許や意匠、商標などを権利化したとしても、それを活用して製品化するには、秘密管理は重要です。また、社員のモチベーションをアップさせるためにも職務発明規程も必要ですが、それらを自社に合わせて整備していくためには、知財に関する専門的な知識や経験が不可欠です。
そこで、INPIT 知財総合支援窓口を活用し、足りない部分を全面的にサポートして頂くことで、短期間でスムーズに社内の知的体制を構築できました。INPIT 知財総合支援窓口を自社の知財部のように考えてみたらいかがでしょうか。

三笠産業株式会社 取締役管理本部部長　大徳知道様

商標権取得の相談を機に地元の活性化につながる新事業展開が加速！

株式会社オーシャンドリーム

所在地	愛媛県八幡浜市
設立年	2011 年
業種	食品製造業
従業員数	11 人
資本金	100 万円
ホームページ URL	http://www.ocean-d.co.jp/

知財ポータル
窓口支援事例

食品製造業
四国

利用のきっかけ

★ 香川の「うどん県」や大分の「温泉県」と同様、地元･八幡浜の活性化を念頭に置き、養殖真鯛の生産量日本一の愛媛県を全国に周知すべく、「まだい県」の商標権取得を目指して INPIT 知財総合支援窓口に相談。結果、ネーミングとしては却下されたものの、同時申請していたロゴマークは商標権を取得することができました。
この流れの延長線上で、愛媛大学とのコラボレーションを INPIT知財総合支援窓口の支援担当者より提案を受け、新たな事業展開へと発展しました。

事業上の課題

★ どれだけ強い思いを持って地元の活性化につながるような事業開発に取り組んでも、一人ではやれることが限られると痛感していました。多くの人とコラボレーションし、温かみがある商品を作り、消費者にも気持ちを伝えたいと考えていました。

INPIT知財総合支援窓口での支援内容

支援内容

①商標権取得支援
②愛媛大学との共同開発に関する支援
③販売戦略支援

活用した専門家　食品関係専門家

利用後の変化

INPIT 知財総合支援窓口を通じて、愛媛大学をはじめ、様々な専門家、異業種事業者を活用したことで視野が広がりました。そうしたなかで最も大きな変化は、長らく本業として手掛けてきた水産製品業のみならず、地元の農産物を資源とした製品開発事業にも目を向けるようになったことです。
八幡浜は、天皇陛下に献上するみかんの産地として有名です。また、キウイフルーツの生産量が日本一多いのも愛媛県ですし、ブルーベリーも多く収穫できます。これだけ豊富で上質なフルーツに囲まれていながらも、INPIT 知財総合支援窓口に相談していなければ、農産物事業には未だに取り組んでいなかったかもしれません。

ご利用を検討される事業者さまへ

当社も今後は、海外における八幡浜製品の展開を考えています。こうした時にトラブルが起きがちなのが実は商標権の有無だそうです。トラブルのからくりは、日本の展示会に訪れたバイヤーが商品パッケージやロゴマークの写真を撮り、それをもとに自国で商標登録を済ませてしまう。そうとは知らずに輸出して市場流通させてしまえば、逆に商標権侵害で訴えられることになってしまう。輸出を視野に入れている事業者の皆さんは、まず INPIT 知財総合支援窓口に相談して、知財戦略を意識しながらビジネスを進めることをおすすめします。

株式会社オーシャンドリーム 代表取締役社長　松浦康夫様

高い技術の成果を特許化
独自の「カーブカット工法」で
医療分野へ参入

キリシマ精工株式会社

所在地	鹿児島県霧島市
設立年	2006 年
業種	製造業
従業員数	53 人
資本金	1,000 万円
ホームページ URL	http://kirishima-seiko.jp/

製造業

知財ポータル
窓口支援事例

九州

利用のきっかけ

★ 材料から部品加工の一発加工を可能にした自社独自の切削加工方法を含めた独自技術やノウハウの流出防止策について電話相談をしました。

事業上の課題

★ 社員同士で知恵を出し合い、技術を磨き、超精密加工を得意とする企業として認められるようになりたいという強い思いを抱いていました。

INPIT知財総合支援窓口での支援内容

支援内容

①「営業秘密・知財戦略」セミナーの開催による、社内におけるノウハウを含めた知財管理体制の認識強化
②新製品の権利化支援
③特許の実施面で相互利益が生まれる関係を維持するため、共同出願契約書の締結を後押し
④ブランドイメージ確立のため、ハウスマークの商標登録に関する支援

活用した専門家　弁護士　INPIT知財戦略アドバイザー

利用後の変化

相談を重ねるなかで、自社の技術・ノウハウの流出保護が必要であると実感しました。INPIT 知財総合支援窓口を活用したセミナー受講を経て十分な知識を得た後に展示会に積極的に出品し、技術の高さをアピールでき、新製品の開発依頼に結びつけることができました。その後、医療関係特許の国内及び国際特許出願が実現し、新工場建設と製造装置の専用化を果たし、新規の雇用も生まれ地域に貢献できました。また、５年がかりで商品化した次世代の歯列矯正器具「超小型ブラケット」で医療分野に本格参入することができ、大きな反響を頂いています。
現在、ブラケットの新バージョンも臨床試験中で、海外展開も視野に入れ、特許取得を進めています。また、評判を聞いた医療機器メーカーから依頼を受けた新型手術用鉗子の製品化も順調に進んでいます。「霧島から世界へ」という夢に向かって準備がしっかり整いました。

ご利用を検討される事業者さまへ

INPIT 知財総合支援窓口には大変お世話になっています。当初は特許出願に向けて、ハードルが高いと考えておりましたが、素人の私どもにも分かりやすいように、ステップを設定してご説明いただいたり、専門家をご紹介いただいたりと、おかげで無理なく着実に出願することができました。
現在も、INPIT 知財総合支援窓口の支援担当者は頻繁に来社され、万全なアフター―フォロー体制をとっていただいています。利用をお考えの方は、まずは自社の製品・技術を把握してから、相談をしてみてください。豊富な経験を元に、二人三脚で細かなアドバイスを受けられます。

キリシマ精工株式会社 代表取締役　西重潤一様